

# 「情報活用能力」指導を具体化する研修を提供開始

——静岡大学と2つの教員向けカリキュラムを共同開発——

2024年6月19日

株式会社NTT ExCパートナー

株式会社NTT ExCパートナー(エヌ・ティ・ティ エクシーパートナー 本社:東京都千代田区、代表取締役社長:矢野 信二、以下「当社」)は、国立大学法人静岡大学教育学部塩田研究室(准教授:塩田真吾、以下「静岡大学」)と共同で新たな教員研修カリキュラムを開発し、提供を開始しました。

2019年に提唱されたGIGAスクール構想※によって、全ての公立小中学校の児童生徒一人ひとりが専用のタブレットPCなどのICT環境を使えるようになりました。現在では、さまざまな学習の場面でタブレットPCが活用され、協働的な学び、個別最適化された学びを実現する重要なツールとなっています。

子どもたちがこれからの時代を生きていくに際して、情報活用能力の向上は必要不可欠ですが、具体的に情報活用能力をどのように育てていくか、学校現場から伺ったさまざまなお悩みの声をもとに、

- ・ 情報活用能力の育成に関する研修
- ・ 「理想」と「リスク」に着目して家庭のルールを再考してみよう

の2種類の教員研修カリキュラムを、静岡大学と共同で開発しました。



研修教材イメージ

## ■ 情報活用能力の育成に関する研修について

「情報活用能力の育成に関する研修」では情報活用能力に焦点を当て、教科等の学びを通じた情報活用能力育成のポイントと実践事例を学びます。これまでの教員向け研修では、情報活用能力の解説にとどまっておりました。本研修では共同研究で独自開発した情報活用能力チェックリストを活用し、情報活用能力に対する理解に加え、クラスや学校の情報活用能力の状況を可視化して、具体的な指導方法まで検討することができるようになります。また、豊富な実践事例に基づいて、情報活用能力を効果的に習得できる授業設計を学ぶことができます。

### 情報活用能力のアセスメント（小学校高学年の例）

The image shows a detailed checklist titled '情報活用能力チェックリスト' (Information Literacy Checklist) for upper elementary school students. It is organized into several sections, each with a title and a grid of items to be checked. The items are categorized into different levels of proficiency, such as '基礎' (Basic) and '応用' (Advanced). The checklist includes various skills related to finding, evaluating, and using information effectively.

クラスや担当学年の情報活用能力をチェックしてみよう

情報活用能力チェックリストイメージ

## ■ 「理想」と「リスク」に着目して家庭のルールを再考してみよう」について

「理想」と「リスク」に着目して家庭のルールを再考してみよう」では、子どもが自ら考え、家庭でも学校でも理想的な使い方を実現するためのルールづくりの方法を学びます。教員や保護者、外部講師などが一方的に伝える指導から、子どもが自ら考えて目標やルールを設定するのを促すやり方へと転換を図ることができる。家庭と連携した情報モラル教育の重要性は理解しているものの、どのような方法で保護者と子どもとのルールづくりを支援したらよいか、お悩みの学校に最適なカリキュラムです。学校から保護者に配布・活用できるリーフレット教材もご紹介しますので、研修後すぐに実践することができます。

### 【ポイント①】理想の姿とリスクを考えてみよう

The image shows a leaflet titled 'スマホ、タブレットの上手な使い方を考えよう' (Let's think about how to use smartphones and tablets well). It is divided into two main steps. Step 1 is '子どもの「やりたいこと」を確認しよう' (Let's confirm the child's 'things they want to do'). Step 2 is '子どもがやりたいことを実現する前に、禁止事項やルールを伝える前に子どもの「やりたいこと」を否定せずに把握することが大切です。' (Before conveying prohibitions or rules, it is important to grasp the child's 'things they want to do' without negating them). The leaflet includes a checklist of items to discuss with the child, such as 'What do you want to do with your smartphone/tablet?' and 'What are the risks of using it?'. It also provides guidance for parents and teachers on how to approach these discussions.

家庭向けリーフレット教材の使い方説明資料

## ■ 体験セミナーのお知らせ

本教員研修カリキュラムは、2024年6月より当社の教員向け研修メニューとして提供します。また、2024年7月6日(土)に、大阪教育大学において塩田准教授と当社開発担当による研修体験セミナーを開催いたします。**塩田准教授による実演を通して、実際に研修のメリットを体感**することができます。セミナーの詳細および参加申し込みに関しては、大阪教育大学みらい教育共創館のWebページをご確認ください(<https://mirai.osaka-kyoiku.ac.jp/event/20240706-2/>)。

The poster features a blue and white color scheme. At the top, it lists logos for Mirai, Osaka University of Education, and NTT ExC Partner. The main title is '情報活用能力育成のための教員研修体験セミナー'. Below this, it states the seminar is for 2024 on July 6th (Saturday) from 13:30 to 15:00. It lists two speakers: 塩田真吾 (Shimoda Masao) and 川邊貴英 (Kawabe Takahiko). The schedule shows a 13:00 start, a 13:30 seminar start, and a 15:00 end. The venue is Osaka University of Education, Mirai Education Co-creation Hall, 3rd floor 302 Future Classroom. The application deadline is June 26th (Wednesday) at 11:59 PM. QR codes for application are provided at the bottom left.

**情報活用能力育成のための  
教員研修体験セミナー**

静岡大学とNTT ExCパートナーは共同で新たな教員研修カリキュラムを開発しました。「教科指導等における情報活用能力の育成」および「家庭と連携した情報モラル指導」に関する研修を、塩田先生による実演で体験してみましょう！

2024  
**7.6** (土)  
13:30~15:00

**講師**

**塩田 真吾**  
静岡大学教育学部 学校教育講座 准教授  
早稲田大学大学院修士、博士(学術)。  
研究分野は教育工学、授業デザイン。「社会とつながる授業」をテーマに、授業の「社会的課題の授業デザインについて工学的に研究している。」

**川邊 貴英**  
前NTT ExCパートナー 教育ICT事業部 開発・サポート部門  
筑波大学大学院修士、博士(教育学)。  
NTT ExCパートナーにて教員向け研修の設計および講師を担当。  
Google for Education Champion資格保有。

**スケジュール**

13:00: 参加者受付開始  
13:30: セミナー開始  
○第一部 (20分)  
■共同研究における成果のご説明  
○第二部 (70分)  
■研修カリキュラムの体験  
【塩田先生による実演】  
15:00: 終了予定

**対象・定員等**

教育委員会関係者・学校関係者・  
学校支援人材・報道関係者 の方  
(対面・Zoom併用 対面定員: 40名)

**会場・アクセス**

大阪教育大学 天王寺キャンパス  
みらい教育共創館 3階 302未来型教室  
JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪南郡野橋駅下車、約650m  
JR守田駅下車、約400m

**申込方法**

以下のURLもしくはQRコードより、  
申込みフォームにアクセスしてください。

(対面参加) <https://forms.gle/KaCgHq1GTh5uWcv7>  
(Zoom参加) <https://forms.gle/9WYzJ3DSy8Jg99paA>

**申込期限** 6月26日(水)まで  
(定員に達し次第締め切り)

【お問い合わせ先】大阪教育大学未来教育共創戦略担当室 Mail: [mirai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:mirai@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)

## 大阪教育大学みらい教育セミナー案内ポスター

当社と静岡大学は、教育現場の課題を解決し、子どもたちの豊かな学びを実現できるよう、引き続き研究・開発に努めます。

※GIGAスクール構想について:[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_0001111.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_0001111.htm)

## ■ 塩田 真吾氏 プロフィール

静岡大学教育学部 准教授

「社会とつながる授業」をテーマに、現代的・社会的課題の授業デザインについて工学的に研究しています。

これまでの主な自治体・学校における教育情報化に関する支援・助言実績

- ・静岡県中山間地域の小規模校におけるICT活用推進事業検討会議(2017～2019)
- ・静岡市遠隔教育システム導入実証研究事業(2018～2020)
- ・静岡県富士市立高等学校運営協議会 委員(2013～2020)
- ・文部科学省「教育の情報化に関する手引」執筆協力者(2019)
- ・文部科学省「青少年を取り巻く有害環境対策の推進」技術審査委員会技術審査専門員(2018～2020)
- ・文部科学省委託「情報モラル教育推進事業」検討委員会 副座長(2018～2020)

## ■ 当社について

文部科学省を始めとした様々な国の実証事業に参画した実績とノウハウを活かして、教育のDX化を推進するソリューションを提供しています。

これまでの主な実証事業実績

- ・デジタル庁委託事業 校務・学習システムのデータ連携テスト環境構築(2022)
- ・文部科学省委託事業 ICT活用教育アドバイザー事業の体制整備(2021～2022)
- ・文部科学省委託事業 小学校プログラミング教材(2019)

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

〈本取組みに関するお問い合わせ〉

NTT ExCパートナー 教育ICT事業部 開発・サポート部門 小池、川邊

Mail: [with-school2020@nttls.co.jp](mailto:with-school2020@nttls.co.jp)

〈報道機関からのお問い合わせ〉

NTT ExCパートナー 経営企画部 経営企画担当 大竹、大槻、宮川

Tel: 03-5860-3360 / Mail: [press@ntt-b.co.jp](mailto:press@ntt-b.co.jp)